



**Hewlett Packard  
Enterprise**

## **HPE OneView 5.0 リリースノート**

### **摘要**

本文書では、HPE OneView 5.0 の新機能、インストールとアップデート手順、および既知の問題と対処方法について説明します。このリリースは、HPE OneView の仮想アプライアンスを使用して HPE ProLiant サーバー、HPE Virtual Connect、およびストレージシステムの構成、管理、およびトラブルシューティングを行う管理者を対象としています。

部品番号: P01318-194  
発行: 2019 年 8 月  
版数: 1

## ご注意

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製については、HPE から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューター・ソフトウェア、コンピューター・ソフトウェア資料、および商業用製品の技術情報は、ベンダー標準の商業用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HPE 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。HPE は本文書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

## 商標

Microsoft®および Windows®は、Microsoft Corporation の商標です。

VMware®は、VMware Inc.の登録商標です。

## 保証

Hewlett Packard Enterprise は購入日から 90 日以内であれば、問題のある配布メディアを交換します。

# 目次

<b>リリースの情報とインストール/アップデート手順.....</b>	<b>5</b>
HPE OneView 5.0 の主な新機能.....	5
HPE OneView 5.0 仮想アプライアンスで提供される主な変更点.....	8
アプライアンスのインストールおよびアップデートの所要時間.....	9
<b>問題と推奨処置.....</b>	<b>10</b>
VM アプライアンスで FIPS レポート作成が失敗する.....	10
HPE OneView で、論理エンクロージャーのファームウェアアップデート中に警告が表示される.....	10
HPE OneView でサーバープロファイルを正常に削除できない.....	10
サーバープロファイルから HPE Superdome Flex サーバーに BIOS 設定を適用する際に PXE サーバーアドレスが欠落している場合、URL からの起動オプションが無視される.....	10
HPE OneView の接続のコンプライアンスチェックが正しくない.....	11
HPE iLO の Active Health System が、HPE OneView によって管理されるサーバーハードウェアの変更を記録できない.....	11
iLO の匿名 XML データ応答が無効な場合、iSUT は FIPS と高セキュリティモードで iLO 認証情報を設定できない.....	11
iLO の CNSA モードの制限事項.....	12
英語以外のディレクトリサーバーのグループ名が一部のブラウザで表示されない.....	12
iLO 5 の HPE OneView SNMP 構成に関する問題.....	12
HPE OneView の Web サーバー証明書をアップデートできない.....	12
スキャンツールによって脆弱な SSH 暗号の問題が報告される.....	13
ハイパーバイザークラスタープロファイルの制限事項.....	13
ESXi FCoE Boot from SAN.....	13
<b>HPE OneView 5.0 に関する注意事項.....</b>	<b>14</b>
<b>HPE OneView のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料</b>	
<b>.....</b>	<b>17</b>
HPE OneView ユーザーガイド.....	17
HPE OneView サポートマトリックス.....	17
HPE OneView のトラブルシューティングガイド.....	17
HPE OneView Global Dashboard.....	17
HPE OneView ヘルプと HPE OneView API リファレンス.....	17
<b>Web サイト.....</b>	<b>18</b>
<b>HPE OneView Remote Technician.....</b>	<b>19</b>
<b>サポートと他のリソース.....</b>	<b>20</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	20
アップデートへのアクセス.....	20
カスタマーセルフリペア (CSR) .....	21

リモートサポート（HPE 通報サービス） .....	21
保証情報.....	21
規定に関する情報.....	21
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	22

# リリースの情報とインストール/アップデート手順

本文書では、HPE OneView 5.0 のリリース情報を提供します。

対象読者	関連情報
すべてのユーザー	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <a href="#">主な特徴</a></li><li>・ <a href="#">関連製品および技術ドキュメントの見つけかたに関するサポートと他のリソース</a></li></ul>
新しいアプライアンスをインストールするか、以前の HPE OneView バージョンから更新するユーザー	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <a href="#">アプライアンスのインストールおよびアップデート手順</a></li><li>・ <a href="#">HPE OneView 5.0 を使用するための問題とその対策</a></li></ul>

HPE OneView の詳細については、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) を参照してください。

HPE OneView の以前のバージョンやアップグレードパスについて詳しくは、[HPE OneView ライフサイクルページ](#)を参照してください。

❗ **重要:** この製品には、リリースされていない製品または機能への参照が含まれる場合があります。Hewlett Packard Enterprise は、そのような製品または機能を商業的にリリースまたはサポートしない権利を留保します。

## HPE OneView 5.0 の主な新機能

### クラスタープロファイルによる VMware vSAN のローリングクラスターアップデート

この機能によって、ハイパーバイザークラスタープロファイルを使用して、VMware vSAN クラスターのライフサイクルを管理できます。VMware vSAN は、HPE OneView の外部ツールを使用してハイパーバイザークラスターで構成する必要があります。これにより、中断せずに、ハイパーバイザークラスタープロファイルのテンプレート構成でハイパーバイザーを構成したり、実稼働 vSAN ワークロードを実行しているサーバーのファームウェアを更新したりできます。

HPE OneView は、デフォルトの VMware vSAN 機能を活用しながら、ハイパーバイザーをメンテナンスモードにします。VMware vSAN は、デフォルトのデータ退避モードをアクセシビリティを確保に設定します。これにより、ハイパーバイザーホストをメンテナンスする前に、仮想マシンが移行され、クラスター内で vSAN データにアクセスできるようになります。

この機能を使用すると、中断せずに、ファームウェアアップデート、サーバー上の OS ドライバーなどの vSAN クラスターのライフサイクルをクラスター対応の方法で管理し、ハイパーバイザークラスタープロファイルを使用してハイパーバイザープロファイルの不整合を修正できます。

### 管理対象サーバー

#### ・ Gen10 ベースのサーバーのファームウェアコンプライアンスダッシュボード

HPE OneView 5.0 は、すべての Gen10 サーバーおよび HPE BladeSystem と HPE Synergy を含む共有インフラストラクチャのファームウェアコンプライアンスを管理するための革新的な新しいコンセプトをもたらします。新しいファームウェアベースライン (Service Pack for ProLiant または SPP) がロードされると、HPE OneView は新しいファームウェアコンプライアンスビューを生成します。HPE

OneView は、インストールされている管理対象ハードウェアのファームウェアバージョンを、追加された SPP の新しいコンポーネントバージョンと比較し、コンプライアンスレポートを生成します。さらに、この機能により、さまざまなフィルタービューを適用し、Excel および csv 形式にエクスポートできます。

- ・ **サーバープロファイルのファームウェアおよび BIOS 設定の整合性レポート**

HPE OneView 5.0 は、実際のサーバー BIOS 設定をプロファイルで指定された値と比較することにより、Gen9 以降のサーバーでの BIOS 設定のずれを検出します。非侵入型のファームウェアおよび BIOS の整合性インジケータがサーバープロファイル UI に表示され、不整合を判断するためのアラートまたは詳細の目視確認への依存を減らします。

- ・ **Brocade Network Advisor (BNA) から Brocade Fabric OS (FOS) REST API への変更**

この機能は、Brocade FOS スイッチ REST API を使用して Brocade SAN を管理する新しい SAN マネージャータイプを提供します。HPE OneView は、Brocade SAN ゾーニング構成を実行するための HPE OneView の BNA に代わる管理パスとして、Brocade スイッチ FOS REST API を導入しています。HPE OneView は、サーバーを中断せずに、本番環境にある管理パスから別の管理パスに移行する移行プロセスをサポートします。

---

**注記:** BNA ベースのゾーニングに対する HPE OneView のサポートは、引き続き Brocade REST API をサポートする FOS バージョンにアップグレードしない SAN でサポートされます。

---

- ・ **HPE Nimble ファイバーチャネルのサポート**

この機能は、HPE Nimble Storage システム用の自動化されたファイバーチャネル (FC) SAN ストレージボリュームプロビジョニングを提供します。HPE OneView サーバープロファイルを利用して、FC ファブリックのゾーン設定を自動的に行い、Nimble Storage ボリュームをプロビジョニングできます。

- ・ **iLO の構成**

サーバープロファイルから設定できる iLO プロパティのリストに、次のアイテムが追加されました。

- **ホスト名**

HPE OneView 5.0 は、特定のサーバーの iLO で iLO ホスト名を構成する機能を提供します。

- **キーマネージャーのセットアップ**

HPE OneView 5.0 は、iLO のキーマネージャー設定を構成する機能を提供します。

- ・ **iLO ホスト名ハイパーリンクからの FQDN を使用した iLO へのシングルサインオン**

以前のバージョンの HPE OneView では、SSO 経由の iLO Web インターフェイスは、iLO IP アドレスを使用して起動されていました。5.0 リリース以降では、サーバーハードウェアの概要またはハードウェアページでホスト名のリンクをクリックして、完全修飾 iLO ホスト名を使用して iLO にアクセスすることもできます。

## DL サーバー

- ・ **3PAR および Nimble の DL/Apollo FC データボリュームのサポート**

サーバープロファイルに手動で入力された HBA WWPN を使用して、DL Gen7、Gen8、Gen9、Gen10、および Apollo サーバーの FC SAN ストレージを管理する機能をお客様に提供します。これは、HPE OneView の FC SAN 自動ゾーニングおよびデータボリュームストレージ機能を利用します。

- ・ **DL サーバー向けのリモートサポート (IPv6 専用サポート)**

この機能は、DL サーバーに対して HPE OneView Remote Support を IPv6 専用モードで提供します。

## ファームウェアアップデートの強化点

- ・ **ファームウェアタスク操作のキャンセル**

HPE OneView 5.0 は、進行中のサーバーファームウェアアップデートをキャンセルする方法を提供します。キャンセルオプションは、ファームウェアのステージングおよびインストール操作中に有効になります。

- ・ **サーバーファームウェアアップデートの耐障害性の向上**

HPE OneView 5.0 は、強化されたデバイスエラー状態検出と自動修復により、ファームウェアアップデートの堅牢性を向上させます。

- ・ **ファームウェアアップデートプロセス中の進捗インジケータの改善**

HPE OneView 5.0 は、サーバーファームウェアアップデート中の各コンポーネントのステージングおよびインストール操作中のタスク更新に関する詳細を提供します。また、インストールされたコンポーネントの合計数も表示します。特定のコンポーネントのファームウェアアップデートが成功しない場合、これらのコンポーネントがタスクにリストされます。

## **c7000 ネイティブのファイバーチャネル (FC) モジュールのダウンリンクポートとアップリンクポートのマッピングの表示**

この機能により、VC-FC モジュールの管理者は、モジュールのダウンリンクサーバー側のポートをアップリンクポートにマッピングする方法を指定できます。この機能により、管理者はログイン分布を検証し、トランク化されていない場合にトラフィックを渡すダウンリンクポートに使用するアップリンクポートを決定できます。これにより、サーバーにパフォーマンスの問題がある場合に、どのアップリンクポートにエラーが表示されるかを特定することで、トラブルシューティングが迅速に行われます。

## **Remote Support - グローバルなセカンダリ連絡先の設定**

この機能により、セカンダリ Remote Support 連絡先を設定し、データセンターリソースを明示的に設定しなくてもそれを継承できます。

## **グローバルダッシュボード 1.8 の Remote Support ステータスレポート**

リモートサポートが有効になっている HPE OneView アプライアンス全体でデバイスをすばやく確認できます。

## **WCAG 2.0 - キーボード操作**

この機能により、キーボードナビゲーションと現在のフィールドのビジュアル化が向上し、どのユーザーフィールドが選択されたかを簡単に識別できます。この機能は、Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.0 のセクション 2.4.3 およびセクション 2.4.7 に準拠しています。

## **HPE OneView アラート抑制の改善**

HPE OneView 5.0 は、さまざまなコンポーネントの操作および監視中のアラートの頻度と数を削減する改善を提供します。

## **HPE Superdome Flex**

- ・ **HPE Superdome Flex ファームウェア管理**

HPE OneView 5.0 は、HPE Superdome Flex サーバーにファームウェアアップデート機能を提供します。Superdome Flex 複合ファームウェアは、フィールドプログラマブルゲートアレイ (FPGA)、ベースボード管理コントローラー (BMC)、RMC、および UEFI のアップデートを単一のミッションクリティカルテスト済みパッケージとして含む Superdome Flex ファームウェアバンドルで更新できます。

この単一のファームウェアパッケージを適用すると、ラックマネージャーとそのすべての nPartitions のファームウェアが更新されます。

- ・ **BIOS 設定の HPE Superdome Flex サーバープロファイルのサポート**

HPE OneView 5.0 では、サーバープロファイルを介して Superdome Flex サーバーの BIOS 設定を構成および編集できます。

- ・ **HPE Superdome Flex のワнтаイムブート設定**

HPE OneView 5.0 では、Superdome Flex サーバーハードウェアのワンタイムブートソースを構成できます。

## HPE OneView 5.0 仮想アプライアンスで提供される主な変更点

以前のリリースの HPE OneView の次の問題は、5.0 リリースで対処されています。

- ・ ディレクトリの追加またはディレクトリの編集アクション中に、HPE OneView が無効なベース DN 入力に対して誤ったエラーを返す問題を解決します。
- ・ クリーンアップ中に誤って削除された Remote Support Active Health および Basic Data Collection ディレクトリが誤った権限で再作成された問題を解決します。
- ・ ブラウザー言語を別のロケールに切り替えた場合、論理インターコネクトグループを編集するとエラーが発生するという問題を解決します。
- ・ iLO ディレクトリグループを構成するサーバープロファイルテンプレートを HPE ProLiant Gen10 サーバーに適用できない問題を解決します。
- ・ バージョン 4.1 から 5.0 にアップグレードすると、サーバープロファイルとサーバープロファイルテンプレートで構成された BIOS 設定が削除されるという問題を解決します。
- ・ データベースに何千ものイベントが含まれているために HPE OneView のアップグレードで予期しない問題が発生した問題を解決します。このような多くのイベントを含む HPE OneView アプライアンスは正常ではありません。アップグレードプロセスが改善され、多数のイベントを処理できるようになりました。
- ・ アクセス可能なゾーンの制約がないために HPE OneView が SAS 構成設定を再適用できない問題を解決します。
- ・ 完全修飾グループ DN ではなくディレクトリグループの部分修飾識別 (DN) 名を使用してディレクトリグループが構成されている場合、HPE OneView 5.0 へのアップグレード後にディレクトリユーザーアカウントを使用したログインが失敗する問題を解決します。
- ・ HPE OneView リモートサポートが HPE OneView から強制的に削除されたデバイスを監視し続ける問題を解決します。
- ・ HPE OneView からエンクロージャーを削除しても制約違反が原因で関連するインターコネクトが削除されないという問題を解決します。
- ・ HPE OneView バージョン 4.10 以降へのアップグレード中に HPE OneView が現在稼働しているサーバー接続のアラートを誤って報告する問題を解決します。
- ・ vROPS が VC ダウンリンクパフォーマンスに関する HPE OneView からの誤った使用率情報を報告する問題を解決します。
- ・ 更新アクションにより、以前は無効だった管理対象サーバー上の Remote Support が自動的に有効になる問題を解決します。
- ・ CA 署名付きアプライアンス証明書のインポートに関するエラーメッセージを改善します。
- ・ HPE OneView が管理対象デバイスの SNMP トラップを構成する際の問題を解決します。以前のリリースでは、デバイスのトラップ転送テーブルを再構成するときに、誤った警告が表示されることがありました。
- ・ HPE OneView が最初に指定されたものとは異なる SMTP サーバーを指すように構成されている場合、HPE OneView がメール通知の送信を停止する問題を解決します。
- ・ cp コマンドの失敗により、HPE OneView バージョン 4.00.11 が認証機関の署名付きアプライアンス証明書をインポートできない問題を解決します。



- ・ RabbitMQ サーバークーの不適切なファイルパーミッションにより、HPE OneView バージョン 4.00.11 が認証機関の署名付きアプライアンス証明書をインポートできない問題を解決します。
- ・ 完全な証明書チェーンがない場合に、HPE OneView バージョン 4.20 が認証機関の署名付きアプライアンス証明書をインポートできない問題を解決します。
- ・ HPE OneView が管理する VC-FC 8Gb 20 ポートモジュールが、HPE OneView で設定されたコミュニティ文字列のほかにコミュニティ文字列 `public` で SNMP GET 要求に応答することを許可していた問題を解決します。HPE OneView で設定されたコミュニティ文字列にのみ応答するようにモジュールを強化しました。
- ・ エンクロージャーグループ GUI のわかりにくいラベルが改善されました。
- ・ サーバードプロファイルテンプレートの整合性チェック値と HPE OneView GUI の検証エラーメッセージの間に不一致がある問題を解決します。
- ・ エンクロージャーを追加して Virtual Connect ドメインを移行するときに、移行ウィザードが SNMP 認証情報を検証できず、推奨される解決策を提供できない問題を解決します。
- ・ HPE OneView でのディレクトリの追加またはディレクトリの編集アクション中の無効なベース DN 入力の誤ったエラーを解決します。

## アプライアンスのインストールおよびアップデートの所要時間

このアップデートには、1 回以上のアプライアンスの再起動が必要です。再起動を含むアップデートの完了に必要な時間は約 1.5 時間です。

アップデート中、ブラウザーにはプロセスの完了率を示す進行状況バーが表示されます。アップデートプロセスの大部分は、進行状況バーに 30% と表示されたときに実行されます。30~40 分間、進行状況バーがこのパーセンテージのままになることを想定しておいてください。同様に、進行状況バーは、35% と表示されたとき、および 45% と表示されたときに、最大約 15 分間、表示が変わらなくなります。アップデートが完了すると、HPE OneView リソースマネージャーは管理対象環境のビューを更新します。これには、管理対象環境のサイズに応じた時間がかかります。バージョン 5.0 では、全体の更新時間は変更されていません。

インストール手順については、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) の HPE OneView インストールガイドを参照してください。

# 問題と推奨処置

ここでは、このリリースの問題と既知の制限事項について説明します。

## VM アプライアンスで FIPS レポート作成が失敗する

### 問題

暗号化モードの互換性レポートの作成が、HPE OneView v5.0 にアップグレードされたアプライアンスで失敗します。

### 推奨処置

互換性を確認するには、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) の HPE OneView 5.0 サポートマトリックスを参照してください。

## HPE OneView で、論理エンクロージャーのファームウェアアップデート中に警告が表示される

### 問題

HPE OneView の論理エンクロージャーのファームウェアアップデートで、ネットワークの問題によりファイル無効の警告が返されます。

### 推奨処置

1. 論理エンクロージャーのファームウェアアップデートの進捗を確認します。
2. アップデートが正常に完了している場合は、この警告を無視してください。

## HPE OneView でサーバープロファイルを正常に削除できない

### 問題

HPE OneView は、複数のプロファイルの削除が同時に試行された場合、または HPE OneView アプライアンスの負荷が高い場合、サーバープロファイルを削除できません。

### 推奨処置

サーバープロファイルを削除するアクションを再度実行してください。

---

**注記:** 削除アクションを完了できるまで、複数回実行する必要がある可能性があります。

## サーバープロファイルから HPE Superdome Flex サーバーに BIOS 設定を適用する際に PXE サーバーアドレスが欠落している場合、URL からの起動オプションが無視される

### 問題

プリブートネットワーク IPv4 構成を取得するために DHCPv4 設定が有効になっており、IPv4 PXE サーバーアドレスが設定されていないかデフォルトに設定されている場合、ファームウェアバージョン 3.0.512 または 3.0.542 を使用して BIOS 設定を HPE Superdome Flex サーバーに適用すると、HPE OneView は URL1 からの起動および URL2 からの起動の各機能を無視します。

### 推奨処置

プリブートネットワーク IPv4 構成を取得するために DHCPv4 を有効になっている場合は、IPv4 PXE サーバーアドレスを設定します。

## HPE OneView の接続のコンプライアンスチェックが正しくない

### 問題

プロファイル内の接続のポートを変更することにより、プロファイルがテンプレートと矛盾するサーバープロファイルの適合と修復の問題。

### 推奨処置

プロファイルのポート設定を手動で更新して、テンプレートに一致させます。

## HPE iLO の Active Health System が、HPE OneView によって管理されるサーバーハードウェアの変更を記録できない

### 問題

Remote Support を使用すると、通常スケジュールされている AHS ログの収集が完了せず、次のメッセージが表示される場合があります。

操作は予定よりも時間がかかっています。

### 推奨処置

iLO Active Health の収集を手動で再実行します。

## iLO の匿名 XML データ応答が無効な場合、iSUT は FIPS と高セキュリティモードで iLO 認証情報を設定できない

### 問題

v2.3.6 以前の Integrated Smart Update Tools (iSUT) が、HPE OneView 4.2 以降を使用する v 1.40 以降の HPE iLO 5 と通信できません。iLO 5 が FIPS または高セキュリティモードであり、iLO 5 の匿名データフラグが無効に設定されている場合、通信に失敗します。

通信を確立できないことによる影響：

- ・ iSUT v2.3.6 以前を使用し、iLO 5 v1.40 以降を含む SPP への iLO レポジトリベースのオンラインアップデート。
- ・ iSUT v2.3.6 以前を使用し、iLO 5 v1.40 以降を含む SPP へのオフラインアップデートの後のオンラインアップデート。

### 推奨処置

次のいずれかの手順を実行してください：

- ・ iLO 5 v1.40 (またはそれ以降) を含む SPP をアップデートする前に、iSUT を v2.4.0 以降にアップグレードします。
- ・ HPE iLO GUI から匿名データを有効にします (セキュリティ > アクセス設定)。
- ・ Microsoft Windows および Linux で、SPP を v2018.11.0 にアップデートするときに、iSUT v2.3.6 を削除して v2.4.0 を追加することで、カスタム SPP を作成します。

## iLO の CNSA モードの制限事項

管理対象サーバーの iLO が Commercial National Security Algorithm (CNSA) モード、またはスイート B モードの場合、HPE OneView コンソールから iLO ユーザーインターフェイスまたはコンソールにアクセスすることはできません。

## 英語以外のディレクトリサーバーのグループ名が一部のブラウザで表示されない

### 問題

ディレクトリサーバーが、中国語や日本語など英語以外のグループ名で構成されているサーバーであり、Microsoft Internet Explorer 11、Firefox 57 以降、または Chrome 64 以降のブラウザが使用されている場合は、中国語または日本語のグループ名を選択した後に、グループの追加操作を行っても構成済みのグループがリストに表示されません。このことは、Active Directory、または Open LDAP ディレクトリにも当てはまります。

### 推奨処置

Microsoft Edge を使用します。

## iLO 5 の HPE OneView SNMP 構成に関する問題

iLO 5 が管理対象サーバーでリセットされたときに、HPE OneView の管理対象サーバーハードウェアが即時に更新された場合、SNMP の構成に一貫性がなく、iLO 5 からの SNMP トラップが HPE OneView で受信されません。

### 推奨処置

iLO が応答を開始した後に約 1 分待ってから、HPE OneView でサーバーを再度更新してください。これにより、iLO の SNMP 設定がリストアされ、HPE OneView がサーバーの監視と管理を継続できるようになります。

## HPE OneView の Web サーバー証明書をアップデートできない

### 問題

HPE OneView へのアップデートが、以下の場合に成功しないことがあります。

- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れている。
- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書が 24 時間以内に期限切れになる。

次のエラーメッセージが表示されます。

[エラー]アプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れているか、古い証明書に戻されています。アップグレードを続行できません。新しいアプライアンスの自己署名証明書を再生成するか、新しい CA 署名アプライアンス証明書を再インポートしてください。その後、アップデートを再度実行してください。

### 推奨処置

1. アプライアンスの証明書が有効であることを確認します。以下の項目は、無効な証明書を示しています。

- ・ 証明書の有効期限が切れている場合、または証明書が 24 時間以内に期限切れになる場合。
- ・ 証明書が SHA1 証明書の場合。

- ・ 証明書で以前その証明書に対して構成された組織情報が失われている場合。アプライアンス証明書が期限切れになり、アップデートされた証明書をインストールする前にアプライアンスを再起動すると、一部の情報が失われる可能性があります。
- ・ 以前は CA の署名済み証明書をインストールしていたものの、現在のアプライアンス証明書がインストール済みの証明書ではない場合。アプライアンス証明書が期限切れになり、アップデートされた証明書をインストールする前にアプライアンスを再起動すると、正しくない証明書が表示されることがあります。

このような場合は、アプライアンスの自己署名証明書を再生成するか、新しい CA 署名済み証明書をインポートしてください。

2. その後、アップデートを再度実行してください。

## スキャンツールによって脆弱な SSH 暗号の問題が報告される

### 問題

Nessus などのセキュリティ脆弱性スキャンツールによって、HPE OneView の SSH サーバーが、攻撃者による暗号文からプレーンテキストメッセージへの復元が可能になる暗号ブロック連鎖 (CBC) 暗号化をサポートしていると報告されます。

### 推奨処置

現時点では、対処は不要です。

スキャンツールからの間違った報告です。この報告は、2008 年で検出された Secure Shell プロトコルの問題を説明する CVE-2008-5161 への参照です。ただし、この SSH プロトコルの脆弱性は HPE OneView に先行して、2009 年に修正されました。すべての HPE OneView のバージョンには、この問題に対して脆弱ではない SSH サーバーが用意されています。

CVE-2008-5161 の詳細については、<https://community.arubanetworks.com/t5/Wireless-Access/SSH-and-AES-CBC/td-p/248919> を参照してください。

## ハイパーバイザークラスタープロファイルの制限事項

IP プールからのネットワークが、ハイパーバイザークラスタープロファイルの DHCP IP 割り当て用の特殊用途のネットワークとともに選択および構成された場合、DHCP 設定が無視され、IP プールによって、選択したネットワークに IP が割り当てられます。

## ESXi FCoE Boot from SAN

### 問題

ESXi 6.0 レガシードライバーを使用して Boot from SAN を実行するときに、ブート対象のサーバーを介した VLAN が削除、復元、または交換された場合、ESXi サーバーにより SAN へのアクセスが削除されます。

### 推奨処置

ESXi サーバーの電源をオンにしてブートするときにアップリンクセットに VLAN を復元して、SAN へのアクセスを復元してください。

# HPE OneView 5.0 に関する注意事項

## Google アナリティクスの使用

HPE OneView 4.20 から、Google アナリティクスとの統合機能が導入されました。匿名ユーザーインターフェイスの使用状況データは、ユーザーのブラウザから Google アナリティクスに送信されます。これにより、HPE は製品の使用方法と改善方法を把握できます。Hewlett Packard Enterprise は、個人情報収集しません。

HPE OneView エンドユーザ使用許諾契約書 (EULA) に同意するときに、HPE OneView の Google アナリティクスの使用を選択します。

EULA には、Hewlett Packard Enterprise のプライバシーポリシー <https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html> およびデータ収集へのリンク (<https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html#datacollection>) が含まれています。このリンクでは、Google アナリティクスのトラッキングの選択を解除する方法も説明しています。

HPE OneView 管理者は、**設定 > セキュリティ > アクションメニュー > 製品の改善メニュー**を使用して Google アナリティクスのトラッキングの選択を解除することもできます。

追加情報：

- ・ 収集される情報は、標準の Google アナリティクスのデータに、使用されている HPE OneView のバージョンのみが追加されたものです。
- ・ HPE OneView Global Dashboard は、リリース 1.5 からの Google アナリティクスも統合しています。

## サポートされる iSCSI ブート構成

次のパラメーターがサポートされています。

- ・ IPv4
- ・ 静的 IP アドレスと DHCP 割当て済み IP アドレス
- ・ HW-iSCSI (iSCSI オフロード、ハードウェア支援によるイニシエーター)

## iLO 4 デバイスの管理

iLO 4 を使用するデバイスを管理する場合、HPE OneView 4.0 以降は、iLO 4 ファームウェアバージョン 2.55 以降で最適に動作します。お客様のデバイスに iLO 4 ファームウェアバージョン 2.3x をお持ちの場合は、Hewlett Packard Enterprise は、お持ちの iLO 4 ファームウェアをバージョン 2.55 以降にアップデートしてから HPE OneView 3.0 以降を用いたデバイス管理を開始されることを強くお勧めします。

## アダプターポートの設定

レガシー BIOS モードでサーバーブレードを使用した SAN (FC または iSCSI) から起動するサーバープロファイル接続を新規作成する場合は、アダプターのポート 1 または両方のポート (ポート 1、ポート 2) が設定されている必要があります。ポート 2 のみ設定を行った場合、誤ったデバイス (通常はローカルディスク) からサーバーが起動される原因となる場合があります。この動作は、Emulex アダプターモデル 554M、650M、554FLB、556FLB、および 650FLB に影響を与えます。

## システムボードの交換

サーバーがメンテナンスのために取り外された際、ネットワークセキュリティの検証が行われていない場合は、HPE OneView (VC のように) の電源はオンになりません。新しいブレードが取り付けられている場合、HPE OneView はブレード/OA をチェックし、同じサーバー (UUID を使用) および構成が使用されているかを確認します。元のサーバーと新しくインストールしたサーバーの UUID が一致する場合は、サーバーの電源が自動的にオンになります。ただし、元のサーバーと新しくインストールしたサーバーの UUID が一致しない場合は、サーバープロファイルに新しいサーバーが認識されないことを示すエラーが表示されます。同じハードウェアタイプのサーバーがインストールされているが、HPE OneView によって認識されていない場合、再適用後にサーバーを再インストールします。新しいサーバーが、元のサー

バーと一致しない場合は、サーバープロファイルを削除して正しく一致するサーバーをインストールします。

システムボードを交換する場合は、サーバーの再起動とサーバープロファイルを解除するために、UEFI システムユーティリティを介して UUID を手動で再プログラムする必要があります。サーバーの再起動後、新しいサーバーを受け入れるように UUID を再プログラムすることができます。新しいサーバーの POST サイクルが完了すると、サーバープロファイルは新しくインストールしたサーバーに再割り当てされます。

### MD5 デジタル署名を使用した管理対象デバイス証明書の実推奨通知

iLO 2 管理プロセッサを搭載したサーバーなどの古いデバイスでは、MD5 ハッシュアルゴリズムに基づくデジタル署名付きのトランスポート層セキュリティ (TLS) 証明書を使用できます。このような証明書は深刻なセキュリティリスクをもたらします。MD5 アルゴリズムは、モデム証明書のデジタル署名用の SHA-256 などのセキュアハッシュアルゴリズム (SHA) スイートに置き換えられています。HPE OneView の将来のバージョンでは、これらのレガシー証明書を使用するデバイスはサポートされません。

HPE OneView /rest/certificates の REST API を使用すると、MD5 デジタル署名で証明書を使用しているデバイスを特定できます。<https://hewlettpackard.github.io/POSH-HPOneView/>から入手できる HPE OneView PowerShell インターフェイスの POSH-HPOneView を使用することができます。

### 不要なアラートの削減

**設定 > 通知 > アラートメールフィルターを追加**のアラート基準のデフォルトが**すべてのアラートからすべてのクリティカルまたは警告アラート**に変更されました。

すべてのアラートの通知を受信するには、選択されているアラート基準が**すべてのアラート**であることを確認してください。

### iLO 暗号化モードを高セキュリティに変更するには、iLO 認証情報を使用して iSUT を設定する必要があります

iLO 暗号化モードを実稼働から FIPS または CNSA に変更したときは、iSUT 2.4.0.0 以降がインストールされ、iLO 認証情報を使用して構成されていることを確認してください。この手順は、HPE OneView でプロファイルを適用してファームウェアをアップデートするための前提条件です。HPE OneView を使用してファームウェアをアップデートする前に、iSUT の以前のすべてのインストール環境を iLO 認証情報を使用して構成する必要があります。

### MD5 証明書アラートの処理

iLO 2 管理プロセッサを搭載したサーバーなどの古いデバイスでは、MD5 ハッシュアルゴリズムに基づくデジタル署名付きのトランスポート層セキュリティ (TLS) 証明書を使用できます。このような証明書は深刻なセキュリティリスクをもたらします。MD5 アルゴリズムは、最新の証明書のデジタル署名用の SHA-256 などのセキュアハッシュアルゴリズムに置き換えられています。

MD5 デジタル署名付きの証明書の使用は、HPE OneView 4.1 から非推奨になりました。HPE OneView 4.2 では、MD5 証明書について警告アラートが送信されます。将来の HPE OneView リリースでは、このような MD5 証明書はブロックされ、MD5 証明書を使用する管理対象デバイスとの通信は失敗します。

HPE OneView 4.2 は、トラストストア内の証明書のステータスを定期的にチェックします。MD5 ハッシュアルゴリズムを使用する証明書が見つかった場合、次のアラートが表示されます。

- ・ **メッセージ:** エイリアス名<エイリアス名>を持つ証明書が、MD5 ハッシュアルゴリズムを持つ安全でないデジタル署名を使用しています。
- ・ **解決策:** MD5 デジタル署名を使用した証明書は安全ではなく、非推奨です。HPE OneView の将来のリリースでサポートされなくなります。これがデバイス証明書の場合、強力なデジタル署名で証明書を更新してください。これが CA ルート証明書または中間証明書である場合は、公開キー基盤 (PKI) 管理者と協力して証明書を更新してください。

---

**注記:** 証明書を更新するには、管理対象デバイスのファームウェアを更新する必要がある場合があります。

これらの MD5 証明書は、**設定 > 証明書の管理画面**で HPE OneView で非推奨とマーキングされます。

iLO 2 では、すべての HPE OneView iLO 2 ファームウェアバージョンが SHA ベースの証明書をサポートしています。ただし、iLO ファームウェアのアップグレードでは、デバイスの既存の証明書は変更されません。iLO の工場出荷時のリセット操作と iLO のホスト名を変更する場合のみ、iLO の自己署名証明書を再生成できます。同様に、認証機関が発行した証明書にも MD5 デジタル署名が含まれている可能性があり、アップデートされた証明書を取得するには新しい iLO 証明書の署名要求が必要です。詳しくは、iLO ユーザーガイドを参照してください。

HPE OneView `/rest/certificates` の REST API を使用すると、MD5 デジタル署名で証明書を使用しているデバイスを特定できます。HPE OneView PowerShell インターフェイス、POSH-HPOneView は <https://hewlettpackard.github.io/POSH-HPOneView> から入手して、使用できます。

以下に例を示します。

```
• Connect-HPOVMgmt -Hostname <your appliance> -Username <OneView username> [-AuthLoginDomain <AD or LDAP domain>]
• $certs = Send-HPOVRequest "/rest/certificates"
• $md5certs = @()
• $certs.members | foreach-object {$md5certs += New-Object PSObject -property@{commonName=$_.certDetails.commonName; aliasName=$_.aliasName; signature=$_.certDetails.signatureAlgorithm }}
• $md5certs | ? {$_.signature -match "MD5" } | format-table
```

---

**注記:** この方法では、HPE OneView トラストストアに存在する証明書のみを識別します。証明書には、認証機関のルート証明書と中間証明書、およびデバイスの自己署名証明書が含まれます。CA ルートおよび中間証明書の場合、デバイスのリーフ証明書は HPE OneView トラストストアに存在しません。

---



# HPE OneView のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料

**Hewlett Packard Enterprise Information Library** は、タスクベースのレポジトリです。インストール手順、ユーザーガイド、メンテナンスとサービスガイド、ベストプラクティス、およびその他のリソースへのリンクが含まれています。この Web サイトを使用して、次のような最新のドキュメントを入手してください。

- ・ HPE OneView のテクノロジーについて
- ・ HPE OneView アプライアンスのインストールとケーブル接続
- ・ HPE OneView コンポーネントのアップデート
- ・ HPE OneView の使用と管理
- ・ HPE OneView のトラブルシューティング

## HPE OneView ユーザーガイド

HPE OneView ユーザーガイドは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。リソース機能、プランニングタスク、クイックスタートタスクの構成、グラフィカルユーザーインターフェイスのナビゲーションツール、および HPE OneView のサポートと参照情報が示されています。

## HPE OneView サポートマトリックス

HPE OneView サポートマトリックスは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。HPE OneView のソフトウェアおよびファームウェアの最新の要件、サポートされるハードウェア、および構成の上限を維持します。

## HPE OneView のトラブルシューティングガイド

HPE OneView トラブルシューティングガイドは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。HPE OneView ハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの両方に対し、一般的な問題の解決のための情報、障害の分離と識別のための手順、問題の解決、および保守を提供します。

## HPE OneView Global Dashboard

HPE OneView Global Dashboard は、HPE OneView によって複数のプラットフォームとデータセンターサイト間で管理される、ヘルス、アラート処理、およびキーリソースの統合ビューを提供します。**Hewlett Packard Enterprise Information Library** ([www.hpe.com/info/synergy-docs](http://www.hpe.com/info/synergy-docs)) にある HPE OneView Global Dashboard ユーザーガイドでは、インストール、構成、移動、および HPE OneView Global Dashboard のトラブルシューティング手順を説明します。

## HPE OneView ヘルプと HPE OneView API リファレンス

HPE OneView ヘルプおよび HPE OneView API リファレンスは、HPE OneView のユーザーインターフェイスで利用できる、アクセスしやすい組み込み型のオンラインヘルプです。これらのヘルプファイルには、HPE OneView 内の一般的な問題、および問題のトラブルシューティング手順と例への「詳細情報」リンクが含まれています。

ヘルプファイルは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手可能です。

# Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	<a href="http://www.hpe.com/info/enterprise/docs">http://www.hpe.com/info/enterprise/docs</a>
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	<a href="http://www.hpe.com/support/hpsc">http://www.hpe.com/support/hpsc</a>
Hewlett Packard Enterprise Worldwide の連絡先	<a href="http://www.hpe.com/assistance">http://www.hpe.com/assistance</a>
HPE OneView のドキュメント	<a href="http://www.hpe.com/info/oneview/docs">http://www.hpe.com/info/oneview/docs</a>
サブスクリプションサービス/サポートのアラート	<a href="http://www.hpe.com/support/e-updates-ja">http://www.hpe.com/support/e-updates-ja</a>
Customer Self Repair	<a href="http://www.hpe.com/support/selfrepair">http://www.hpe.com/support/selfrepair</a>
HPE OneView FAQ ドキュメントのリモートサポート	<a href="http://h20564.www2.hpe.com/portal/site/hpsc/public/kb/docDisplay/?docId=c05245290">http://h20564.www2.hpe.com/portal/site/hpsc/public/kb/docDisplay/?docId=c05245290</a>
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス	<a href="http://www.hpe.com/storage/spock">http://www.hpe.com/storage/spock</a>
HPE Virtual Connect のユーザーガイド	<a href="http://www.hpe.com/info/virtualconnect/docs">http://www.hpe.com/info/virtualconnect/docs</a>
HPE Virtual Connect のコマンドラインリファレンス	
HPE 3PAR StoreServ ストレージ	<a href="http://www.hpe.com/info/storage">http://www.hpe.com/info/storage</a>
HPE Nimble Storage	<a href="https://www.hpe.com/us/en/storage/nimble.html">https://www.hpe.com/us/en/storage/nimble.html</a>
HPE Integrated Lights-Out	<a href="http://www.hpe.com/jp/servers/ilo">http://www.hpe.com/jp/servers/ilo</a>
HPE BladeSystem エンクロージャー	<a href="http://www.hpe.com/info/blades-ja">http://www.hpe.com/info/blades-ja</a>
HPE ProLiant サーバーハードウェアの Web サイト	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 一般情報 : <a href="http://www.hpe.com/info/servers-ja">http://www.hpe.com/info/servers-ja</a></li><li>・ BL シリーズサーバーブレード : <a href="http://www.hpe.com/info/blades-ja">http://www.hpe.com/info/blades-ja</a></li><li>・ DL シリーズラックマウント型サーバー : <a href="https://www.hpe.com/us/en/servers/rack">https://www.hpe.com/us/en/servers/rack</a></li></ul>
ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート	<a href="http://www.hpe.com/storage/whitepapers">http://www.hpe.com/storage/whitepapers</a>
HPE ProLiant DL 向けコンポーザブルクラウド	<a href="http://www.hpe.com/info/composablecloud-docs">www.hpe.com/info/composablecloud-docs</a>

# HPE OneView Remote Technician

HPE OneView Remote Technician による問題の解決の迅速化。HPE OneView Remote Technician を使用すると、問題のトラブルシューティングおよび解決のサポートが迅速かつ容易になります。招待により、認証された HPE サポート技術者が、問題のトラブルシューティングと診断に安全な TLS 接続を通じて HPE OneView アプライアンスにアクセスします。

- ・ FTP サイトを必要としないログの直接ダウンロードなど、信頼された HPE サポート技術者が問題を診断する際に現場にいる必要がありません。
- ・ HPE OneView Remote Technician は、追加のアプリケーションなしで HPE OneView 4.1 以降に組み込まれます。
- ・ HPE OneView Remote Technician にアクセスするには、**HPE OneView の設定ページ**内にある**診断メニュー**を開きます。
- ・ HPE OneView Remote Support は必要ありません。

# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/jp/ja/contact-hpe.html>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

### Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パートをセットアップしておく必要があります。

## カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

## リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

## 保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を表示するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## 規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

## 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。